

令和7年度

# 「声優によるキャリア教育」

## 実施報告書

実施期間：2025年10月～2026年2月

対象：東京都江戸川区・茨城県つくば市の小中学校計6校

対象児童生徒数：約1,200名

主催：一般社団法人こえのつばさ

## 1. 事業概要

本事業は、第一線で活躍するプロの声優を講師に招き、圧倒的な表現技術の鑑賞と実体験、および自身のキャリアに関する講話を通じて、児童生徒の「表現への探究心」「読書への意欲」「将来の夢への希望」を育むことを目的として実施しました。

項目	内容
実施期間	2025年10月～2026年2月
実施校数	全6校（小学校3校・中学校3校）
対象地域	東京都江戸川区・茨城県つくば市
対象人数	児童生徒 合計約1,200名
主催	一般社団法人こえのつばさ

## 2. 実施校および登壇声優一覧

東京都江戸川区および茨城県つくば市の小中学校にて、計6回の特別授業を実施しました。

校種	学校名	実施日	登壇声優
中学校	つくば市立谷田部東中学校	2025/10/16	大地 葉氏
中学校	江戸川区立松江第三中学校	2025/10/29	石川 界人氏
中学校	江戸川区立小岩第一中学校	2025/12/18	今井 文也氏
小学校	江戸川区立鹿骨東小学校	2026/1/26	小林 由美子氏
小学校	つくば市立沼崎小学校	2026/2/2	豊田 萌絵氏
小学校	江戸川区立中小小岩小学校	2026/2/16	岡村 明美氏

アンケート有効回答数

区分	児童生徒	教職員
中学校（3校）	654名	16名
小学校（3校）	130名	15名

## 3. アンケート調査結果（全体平均）

### 【教職員アンケート：教育現場からの評価】

集計を行った全校において、教職員の授業満足度は100%（「非常に良かった」「良かった」の合計）となり、全項目で高い評価を得ました。

評価項目	肯定率	代表校
特別授業の満足度	100%	小岩第一中
児童生徒の読書意欲向上への実感	約91.5%	松江第三中

キャリア教育としての有効性	100%	鹿骨東小
指導や接し方のヒント	約 87.5%	沼崎小
来年度以降の開催への関心	約 85.0%	谷田部東中

## 教職員の所見

"本物の声に触れる体験が、児童生徒の心に深く残る授業であったと感じています。" ——小岩第一中学校

"プロの朗読が、文字から情景を想像させる「言葉の力」を伝える教材として機能していました。" ——松江第三中学校

"夢を叶えるための努力やプロの姿勢は、進路選択において貴重な刺激となりました。" ——鹿骨東小学校

"演じることで相手に伝える技術は、教員の授業改善にもつながる視点でした。" ——沼崎小学校

"体験型の学びとして継続的な実施を強く希望します。" ——谷田部東中学校

## 【児童生徒アンケート：学びと気づき】

評価項目	全体平均	代表校
特別授業の満足度（楽しかった・良かった）	97.7%	松江第三中
継続・再実施の希望（また受けたい）	93.5%	小岩第一中
読書への関心向上	76.4%	谷田部東中
将来のことを考えるきっかけ（キャリア効果）	71.3%	鹿骨東小

生の声優による表現は画面越しでは伝わらない迫力をもって児童生徒に届き、「来年も絶対に来てほしい」という継続希望がほぼ全校で共通して見られました。また、朗読を通じて物語の世界観が広がり、自ら本を手にとろうとする意欲の芽生えが確認されました。

## 4. 全国比較ベンチマーク

本事業のアンケート結果を客観的に評価するため、同一設問に対応する最新の全国調査データと比較します。

### 【読書冊数との比較】

全国学校図書館協議会「第70回学校読書調査（2025年）」（文部科学省引用）によると、全国平均の月間読書冊数は小学生（4～6年生）12.1冊、中学生（1～3年生）3.9冊（前年比それぞれ-1.7冊、-0.2冊）であり、活字離れの傾向が全国的に進行しています。不読者率（0冊）は小学生9.6%、中学生24.2%にのぼります。本事業の対象校では、事業実施後に76.4%の児童生

徒が「読書への関心が向上した」と回答しており、全国的な活字離れの流れに対して明確な改善効果が確認されました。

### 【アニメ視聴頻度との比較】

こども家庭庁「令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査」（2025年3月公表）によると、中学生の動画視聴率は94.2%、小学生（10歳以上）は89.7%に達しており、アニメは上位視聴カテゴリに位置しています。本事業の対象校においても約61%が「毎日」または「週3～5日」アニメを視聴しており、全国傾向と一致した高い親和性が確認されました。声優・アニメを入口とした本事業のアプローチは、児童生徒の関心を読書や学びへと橋渡しする有効な手法であると考えられます。

### 【教職員満足度・再開催意向との比較】

文部科学省「学校教育における外部人材活用事業」成果報告書（2024年）およびキャリア教育推進資料（2025～2026年傾向値）、各自治体教育ビジョンアンケートによると、特別授業に対する教員満足度は概ね70～80%台、再開催意向（来年度関心あり）は60～70%台が上限傾向とされています。本事業における教職員満足度（100%）および来年度以降の開催への関心（約85.0%）は、いずれも全国水準を大きく上回るものであり、本事業の質の高さと継続的な需要を裏付けるものです。

### 【将来への意識・キャリア効果との比較】

ソニー生命保険「中高生が思い描く将来についての意識調査2025」（2025年7月31日公表）によると、10年後の自身の将来を「不安」と感じる割合は中学生39.0%・高校生46.0%、10年後の日本の将来を「不安」と感じる割合は中学生73.0%・高校生77.3%（前年比+5pt以上上昇）に達しており、将来不安は全国的に高水準で推移・悪化しています。また、マイナビ「2025年度就職活動に対する保護者の意識調査」（2026年2月12日公表）によると、キャリア教育参加後に「子どもが将来やキャリアについて考えるようになった」と回答した保護者は62.4%にとどまっています。

**【総括】** 全国の中高生の将来不安が高水準で推移し、一般的なキャリア教育でさえ「考えるようになった」が62.4%にとどまる中、本事業では声優の実体験講話により「将来を考えるきっかけになった」が71.3%を達成した。さらに、教職員満足度100%・児童生徒満足度97.7%という圧倒的な数値が示すとおり、声優という唯一無二のコンテンツが全国の将来不安をポジティブなきっかけへと転換することを、本事業は数値をもって明確に証明しました。

評価項目	本事業	全国水準（参考）	出典
教職員の授業満足度	100%	70～80%台	文科省「外部人材活用事業」成果報告書（2024年）
教職員の再開催意向	約85%	60～70%台	同上・各自治体教育ビジョンアンケート
児童生徒の読書関心向上	76.4%	不読者率：小9.6%、中24.2%	全国SLA「第70回学校読書調査」（2025年）
動画・アニメ視聴率	約61%（毎日～週3～5日）	中学生94.2%、小学生89.7%	こども家庭庁（2025年3月）

将来を考えるきっかけ	71.3%	62.4%（保護者回答）	マイナビ「保護者の意識調査」（2026年2月）
中学生の将来不安率	（不安→希望へ転換）	自身 39.0%／日本 73.0%	ソニー生命「中高生意識調査 2025」

## 5. 不登校傾向の児童生徒への効果

本事業では、普段学校に足が向きにくい生徒たちへの肯定的な影響が複数の教職員から報告されました。

- **登校の動機付け**：「芸術鑑賞に参加したい」という強い希望から登校できた生徒が見受けられました。（谷田部東中学校）
- **参加への第一歩**：不登校傾向の生徒が教職員と共に会場で参加し、本物の声に触れることで、次の一歩を踏み出すきっかけとなりました。（小岩第一中学校）
- **表情の変化**：保健室登校の生徒が、授業を通じて明るい表情に変化したことが確認されています。（小岩第一中学校）

## 6. 児童の生活習慣と読書実態

- **アニメ視聴頻度**：児童の約 61%が「毎日」または「週 3～5 日」アニメを視聴しており、日常的な親和性が非常に高い実態があります。
- **1 か月の読書数**：約 75%の児童が「0 冊」または「1～2 冊」と回答しており、活字離れの傾向が見られます。

日常的に親しみのあるアニメ・声優を入口にすることで、読書から遠ざかっていた層の興味を引き出す「きっかけの創出」に成功していると考えられます。

## 7. 参加者の声（定性評価）

### 教職員の感想

"声を出す技術だけでなく、演じることで"人間が変わる"というお話にプロの力を感じ、生徒の学習意欲に直結しました。" ——松江第三中学校

"不登校傾向の生徒と一緒に参加しましたが、彼らが一歩踏み出すきっかけになる素晴らしい授業でした。" ——小岩第一中学校

"不登校の生徒の中には「芸術鑑賞に参加したい」と登校できた子もいて、大変嬉しく感じました。" ——谷田部東中学校

"「夢を叶える」お話は、失敗しても挑戦し続ける大切さを子供たちの心に深く刻んでくれました。" ——鹿骨東小学校

"国語の授業の朗読につなげてお話しくださったことが、生徒の意欲向上につながる貴重な機会でした。" ——松江第三中学校

## 児童生徒の感想：読書・表現への関心

"声がきれいで、大きさを変えたりイントネーションを変えていてすごかった。もっと本を読もうと思いました！" ——松江第三中学校

"心を込めて人物を想像しながら音読する大切さを学びました。今度から音読をがんばって先生を驚かせたいです！" ——谷田部東中学校

"ラプンツェルの朗読を聞いた時は別世界に入ったようで、相手の気持ちが伝わってきました。音読で意識したいです。" ——中小岩小学校

"「ごんぎつね」の一文一文に感情がこもっていて、私にはまねできない表現でした。授業の音読でやってみたいです。" ——沼崎小学校

"登場人物ごとにちゃんと声が違って、本当に1人で朗読してるのか不思議に思うほど上手でした。想像しながら読みたいです。" ——鹿骨東小学校

## 児童生徒の感想：将来の夢・希望への姿勢

"石川さんが言った「やってみないとわからない」という言葉を大切にして、将来の視野を広げていきたいです。" ——松江第三中学校

"受験で悩むことも多い中、今日のお話が進路選択のとても良いきっかけになりました。好きなことを仕事にできるのは素敵です。" ——小岩第一中学校

"将来の夢を考えるのが苦手でしたが、今回のようなきっかけがあると少し考えてみようと思えました。" ——谷田部東中学校

"オーディションに何度も落ちてもめげずに夢をかなえたお話を聞いて、私も国家試験に合格するまでがんばりたいです！" ——鹿骨東小学校

"「出会いは突然来る」という言葉を聞いて、夢以外にも楽しい道があるんだなと思い、これからは役立てたいです。" ——中小岩小学校

## 8. まとめと今後の展望

本年度の事業は、約1,200名の児童生徒に対し、第一線で活躍する声優の圧倒的な表現力を通じて深い感動と学びを提供しました。全国的な活字離れ・将来不安の高まりという社会的課題に対し、「声優」という唯一無二のコンテンツが有効な解決策となり得ることを、本事業は数値をもって明確に示しました。主な成果は以下のとおりです。

- **教職員満足度 100%**：全校で「非常に良かった」「良かった」の評価を獲得（全国水準 70～80%台を大きく上回る）
- **児童生徒満足度 97.7%**：生の声優の表現に対する強い反響を確認

- **読書意欲の喚起**：76.4%の児童生徒が読書への関心向上を回答（全国的な活字離れ傾向に対抗）
- **将来不安のポジティブ転換**：全国の将来不安率が高水準で推移する中、声優の実体験講話が「夢を考えるきっかけ」として71.3%に機能（一般キャリア教育62.4%を上回る）
- **不登校生徒への支援効果**：登校の動機付け・表情の変化など、多面的な教育効果を確認

次年度はワークショップ機能の充実を図り、「楽しみながら学べる体験学習・芸術文化鑑賞会」として学校教育を強力にバックアップしてまいります。子どもたちが日常的に親しむアニメで活躍する人気声優を「関心の入口」として、読書推進・将来への夢と希望を育む活動を全国規模で拡大することを目指します。

以上  
一般社団法人こえのつばさ